

【芸術選書】

# 失われた絵画を再生する

## デジタル技術を用いた復元への挑戦

木下 悠 著

定価 3,960 円（本体 3,600 円＋税 10%）



## 北斎の絵馬、大坂冬の陣図屏風、モネの睡蓮——

本来の姿を失ってしまった絵画作品たち。その再生を目指して、残された写真や模写を、様々な資料とともに読み解き分析していく。図像を受け継ぐ、その方法や挑戦、限界を、復元現場の先頭に立つ開拓者が語るイメージの探検。

中央公論美術出版

“失われた傑作は、忘れられる。新たな解釈を喚起することができなくなる。忘れられることで完全に失われる。しかし、もしその姿を取り戻すことができれば、一度は奪われたという事実すら吸収して、「その個性をより強く発揮」する傑作となることもできるのではないか。復元とは、そんなことを夢想する試みでもあろう。少なくとも私は復元をそのように考えている。”（「はじめに」より抜粋）

目次

はじめに

美術作品の復元  
本書の構成

第一部 葛飾北斎

《須佐之男命厄神退治之図》

牛嶋神社と北斎

奉納、そして焼失

白黒写真と色

写真に写された

《須佐之男命厄神退治之図》

もうひとつの写し『東都絵馬鑑』

文字資料から

復元へのアプローチ

白黒写真上の情報

印刷プロセスとその影響

撮影プロセスの仮定

撮影仮説の検証

『画本彩色通』

類似作品

カラーパレットとその白黒化

白黒写真が伝える彩色の情報

『東都絵馬鑑』の淡彩の検証

画面の主題から考える

彩色の初期設計

北斎の線をなぞる

彩色作業と検証

額装と完成

第二部 《大坂冬の陣図屏風》

三つの《大坂冬の陣図屏風》

東博模本

課題整理

様式調査

長谷川派との比較

二種の覚書―付番覚書

二種の覚書―相違覚書

覚書の比較

復元の方角性

線描の整理

線描の修正箇所

省略箇所

欠損箇所

東博模本にある遠近法について

彩色指示の読み込みと

カラーパレット化

絵具の色とデジタルの色

デジタル彩色以外での表現

描かれた冬の陣

屏風の形態

完成

後日談

第三部 クロードモネ《睡蓮、柳の反映》

失われたモネを求めて

《睡蓮、柳の反映》の足跡

写真原板の発見

ガラス乾板画像の精査

復元の方角性、ふたつの知能

《樹木の反映》と

七つの《睡蓮、柳の反映》

光と陰

陰影の色づき

睡蓮と柳

カンヴァスについて

地塗りについて

筆について

絵具について

メデイウムについて

アトリエについて

描く手順と構造

白内障の影響

実際に描いてみる

AI技術によるアプローチ

復元の方針

復元作業

完成

復元図の公開

おわりに―カシコノ影ヲ、ココニ見ス―

参考文献一覧

あとがき



葛飾北斎《素盞雄尊図》『國華』240号（國華社）



《須佐之男命厄神退治之図》推定復元図  
(2016年 すみだ北斎美術館蔵)

【芸術選書】

失われた絵画を再生する  
デジタル技術を用いた復元への挑戦

木下 悠 著

定価 3,960 円

(本体 3,600 円+税 10%)

四六判上製カバー装

本文 240 頁 カラー 24 頁

ISBN 978-4-8055-1503-7

2024 年 3 月刊 C1071



【著者略歴】

木下 悠 (きのした・ゆう)

TOPPAN 株式会社 文化事業推進本部。

九州芸術工科大学 芸術工学部 画像設計学科卒業。

日本大学 芸術学部 写真学科卒業。

葛飾北斎「須佐之男命厄神退治之図」推定復元（2016年、すみだ北斎美術館蔵）や、「大坂冬の陣図屏風」デジタル推定復元（2019年、TOPPAN株式会社蔵）、クロード・モネ《睡蓮、柳の反映》デジタル推定復元（2019年）など復元プロジェクトを設計・指揮するほか、デジタル技術を用いた文化財の活用に取り組む。

【芸術選書】 既刊好評発売中!!

※【芸術選書】：美術史・建築史分野で普遍性のあるテーマを専門性を担保しつつ、専門家と読者を架橋する新シリーズです。

鑑定学への招待

「偽」の実態と「観察」による判別

杉本 欣久（東北大学准教授）著



「真」か「偽」かー。美術史研究の世界でタブー視されてきた、美術作品をめぐる「鑑定」の入門書。観るべきポイントを丁寧にひもといいく。

定価 3,520 円 (本体 3,200 円 + 税 10%)

四六判上製カバー装

本文 212 頁 口絵 8 頁

ISBN 978-4-8055-1501-3 C1071

2023 年 3 月刊

明治浮世絵師列伝

菅原 真弓（大阪公立大学教授）著



「明治の写実」と称され役者絵を得意とした豊原国周、いわゆる黎明期の出版人としても評価されるべき落合芳幾、近年明治の浮世絵師の代表として評価の高まっている月岡芳年、その死によって浮世絵の歴史は幕を閉じるとも評された小林清親、浮世絵が過去のものとなりゆく時代を生きた「最後の浮世絵師」たちの生涯と作品。

定価 3,850 円 (本体 3,500 円 + 税 10%)

四六判上製カバー装

本文 272 頁 口絵 16 頁

ISBN 978-4-8055-1502-0 C1071

2023 年 3 月刊

最新刊 (2024 年 3 月刊行)

ピラネージ

幻想の建築家

長尾 重武（武蔵野美術大学名誉教授）著



来たるべき建築を創造した男一。建築家、舞台美術家、版画家、考古学者、古物愛好家、インテリアデザイナー……。近世から近代に移り変わる 18 世紀イタリアで活躍したジョヴァンニ・パッティスタ・ピラネージの生涯と作品をたどり、新しい時代に与えた「幻想」の源を追う。

定価 3,850 円 (本体 3,500 円 + 税 10%)

四六判上製カバー装

本文 232 頁

ISBN 978-4-8055-1504-4 C1071

2024 年 3 月刊

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1

IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

website <https://www.chukobi.co.jp/>

お取り扱い